



1ℓ⇒10ℓ



2009年11月13日

報道関係各位

ダノンウォーターズオブジャパン株式会社
財団法人 日本ユニセフ協会

「1ℓ for 10ℓ(ワンリッター フォー テンリッター)」プログラム最終結果報告

2009年のプログラムにより、今後10年間を通じて6億3400万リットルを越す清潔で安全な水が
アフリカ・マリ共和国の子どもたちとコミュニティ、約10,000人以上へ提供されます

ナチュラルミネラルウォーターブランド「Volvic(ボルヴィック、以下ボルヴィック)」を有するフランスの総合食品メーカー・ダノングループの飲料水事業を日本で展開するダノンウォーターズオブジャパン株式会社(本社:東京都目黒区上目黒、代表取締役社長:リチャード・ホール、以下ダノンウォーターズオブジャパン)は、2009年6月1日より9月30日まで実施した、ボルヴィックとユニセフがグローバルに展開している清潔で安全な水を確保するための支援プログラム「1ℓ for 10ℓ(ワンリッター フォー テンリッター、以下1ℓ for 10ℓ)」プログラムを通じ、今後10年間でアフリカのマリ共和国に供給される水の総量が634,256,820リットルに達したことを発表しました。

日本における本年度のキャンペーンを通じてダノングループからユニセフへ贈られる寄付金は約3,800万円で、この寄付金は、アフリカ・マリ共和国におけるユニセフの水と衛生のプロジェクトに活用されます。ユニセフは清潔で安全な水を確保するための井戸を作り、10年に渡ってメンテナンスを行います。このようにして、ボルヴィック出荷量1リットルにつき10リットルの清潔で安全な水が、マリ共和国に供給され、今後10年間で約10,000人以上の人々に、延べ約6億3,400万リットルの清潔で安全な水が供給される予定です。

「1ℓ for 10ℓ」プログラムは、今世紀地球が抱える水資源に関わる重要課題に取り組んでいくため、ボルヴィックとユニセフが2005年から共同で取り組んでいるもので、ユニセフが世界各地の開発途上国で実施している水と衛生に関するプロジェクトを、ダノングループがボルヴィックブランドを通じて支援するグローバルプログラムです。

2007年、2008年の「1ℓ for 10ℓ」プログラムによる支援の結果、支援対象地域であるマリのコプティ地方およびガオ地方にて、本年8月6日までに、33基の手押しポンプ付の深井戸の新設、60基の故障していた手押しポンプの修復が完了しています。さらに、10基の手押しポンプ付の深井戸と1つのソーラーパネルを備えた給水設備が建設中、40基の故障中の手押しポンプが修復中で、2009年末までに完了する予定です。また、コプティ地方では村にいるポンプの修理工12名を対象に、井戸のメンテナンスのためのトレーニングが実施され、修理やメンテナンスに使用する工具も供給され、さらに10名が本年12月にトレーニングを受ける予定です。また、持続的に、衛生的に水を利用するために、新しく井戸ができた33の村と、手押しポンプが修復された57の村で地元住民による水管理委員会が設立されました。

ダノンウォーターズオブジャパンでは、来年も引き続き「1ℓ for 10ℓ」プログラムを実施する予定で、マリ共和国における清潔で安全な水の確保および現地の人々の衛生環境や生活水準の向上を支援するだけでなく、日本におけるアフリカの水と衛生に関する問題に対する関心と理解を高めることを目指します。

三洋電機との異業界コラボレーションによる結果

本年の新たな取り組みとして、「1ℓ for 10ℓ」プログラムにご賛同いただいた三洋電機株式会社(本社:大阪府守口市、代表取締役社長:佐野 精一郎、以下三洋電機)とのコラボレーションにより、日本国内における水の大切さに関する啓発活動を展開しました。具体的には、小学校での共同出前授業(2回実施)や夏休み特別企画「水の体験教室2009」(8月4日開催)、その他ウェブサイト等を通じて、両社のノウハウや経験を基に水の大切さを直接消費者の皆様へ訴求しました。また、三洋電機で洗濯機事業を手掛ける三洋アクア株式会社は、本年の「1ℓ for 10ℓ」プログラム実施期間である6月から9月までの4ヶ月間におけるAQUAの売上の一部500万円を財団法人日本ユニセフ協会へ寄付しました。同支援金は、ボルヴィック「1ℓ for 10ℓ」プログラムの支援国であるマリ共和国におけるプロジェクトの活動資金として、ユニセフの水と衛生に関する事業の活動に役立てられ、今後10年間で約1,100人以上の人々に、延べ約8,000万リットルの清潔で安全な水が供給される予定です。

クロスカンパニーとの異業界コラボレーションによる結果

レディスカジュアル「earth music & ecology」など6ブランドを展開する株式会社クロスカンパニー(本社:岡山県岡山市、代表取締役:石川康晴、以下クロスカンパニー)とダノンウォーターズオブジャパンは、2008年に引き続き本年も、共同で「1ℓ for 10ℓ」プログラムオリジナルデザイン商品(Tシャツおよびエコバック)を開発し、6月5日



より earth music&ecology 全店にて販売しました。この取り組みにより、クロスカンパニーは対象商品の売り上げの一部 140 万円を財団法人日本ユニセフ協会へ寄付し、同支援金は、「10 for 100」プログラムの支援国であるマリ共和国におけるプロジェクトの活動資金として、ユニセフの水と衛生に関する事業の活動に役立てられます。

第 4 回 ロハスデザイン大賞 2009「コト部門大賞」および 2009 年度 グッドデザイン賞を受賞

本年、「10 for 100」プログラムは、一般社団法人ロハスクラブが主催する「第 4 回ロハスデザイン大賞 コト部門大賞」および財団法人日本産業デザイン振興会が主催する「2009 年度 グッドデザイン賞」を受賞しました。グッドデザイン賞では、「10 for 100」プログラムの、きれいな水へアクセスができないアフリカの問題を日本において顕在化させ、実際の井戸づくりというアクションにまでつなげた仕組みが評価されました。

以上

添付資料:贈呈内容およびマリでの具体的支援活動、マリ共和国における水の現状、「10 for 100」プログラムを振り返って *尚、11 月 13 日に実施された贈呈式の模様は www.volvic.co.jp にて 12 月中旬以降、紹介予定です。

贈呈内容およびマリでの具体的支援活動:

贈呈先	ユニセフ(国際連合児童基金)
贈呈日	2009 年 11 月 13 日(金)
贈呈額	約 4,440 万円 *
寄付金使用用途	<p>< 予定 ></p> <ol style="list-style-type: none"> 1)手押しポンプ付の深井戸 10 本の建設 2)5 基の井戸を、5 つのソーラーパネルを備えた小規模水道設備へ改修 3)手押しポンプ付の深井戸 6 基の修理 4)給水設備の運営管理を行う水利用者委員会を設備毎に設置 5)手押しポンプのメンテナンスを確実に実施できる水と衛生に熟練した作業員の育成 6)コミュニティの水と衛生に関する活動の管理、住民への水と衛生に関する啓蒙活動、水質モニタリングを行うための自治体の能力の強化 <p>持続的な使用を実現させるために、ユニセフは井戸の建設や修理だけでなく、修理工や修理部品の確保、トレーニングを実施し、住民が主体となってメンテナンスを行います。</p>

*贈呈額は、ダノンウォーターズオブジャパン、三洋電機、クロスカンパニー3 社の支援金を合計したものです。

マリ共和国における水の現状:

2007 年、2008 年の「10 for 100」プログラムの支援によって、計 84 村の 46,934 人が新たに、または再び清潔で安全な水が使えるようになり、建設中の給水設備が完成すればさらに 6 つの村の 7,713 人と 5 つの小学校の 716 人の児童が十分な量の清潔で安全な水が使えるようになります。支援対象地域のモプティとガオでは、不衛生な水に起因する寄生虫病のメジナ虫病が発生していましたが、支援で継続的に清潔で安全な水が使えるようになった地域では、その後メジナ虫病は発生していません。

井戸が造られた村では、更なる成果が生まれています。清潔で安全な水が使えるようになったことから、下痢や体調不良が減ったこと、野菜などを作り、栄養状況が改善されたこと、体や手、食器を洗えるようになり、衛生的な生活を送れるようになったことなど、水は、農村に暮らす人々に多くの恩恵をもたらしています。2009 年の「10 for 100」プログラムによる支援を受けて、ユニセフは、引き続き、農村部における清潔で安全な水の供給と持続的な使用のための支援活動を展開していきます。

「10 for 100」プログラムを振り返って:

2 年前に新たな試みとしてチャレンジした活動が定着しつつあることを実感することができた 1 年でした。売り上げ自体は、市場環境・競合環境の変化もあり厳しい環境下ではありましたが、店頭でのメッセージ発信に協力いただける流通企業は増加*し、三洋電機とのコラボレーションや、NPO Waterscape の協力により教材の開発など、プログラム自体にさまざまな広がりがありました。*キリン MC ダノンウォーターズ株式会社調べ



1e → 10e.



ダノングループについて

ダノングループは、フォーチュン 500 に数えられ、世界において最も成功を収めているヘルシーな食品をお届けする企業のひとつです。世界中のできるだけ多くの人々に、おいしく、栄養があり、各市場に適した食品と飲料製品を通じて健康をお届けすることを使命に掲げています。使命を達成していくことが、ダノングループの継続的な急成長の原動力となっています。現在、全世界において五大洲 120 カ国以上で事業を展開しており、約 8 万人の従業員を擁し、約 160 の工場があります。2008 年度売上 152 億ユーロを誇り、チルド乳製品(世界第 1 位)、飲料(世界第 2 位)、乳幼児向け食品(世界第 2 位)、および医療用栄養食の 4 つのビジネスを核としたヘルシーな食品をお届けする企業として確固たる地位を築いています。

Euronext Paris 上場企業。社会貢献活動としては、Dow Jones Sustainability Index Stoxx and World, ASPI Eurozone and Ethibel Sustainability index に入っています。(www.danone.com)

Volvic について

Volvic は、輸入ミネラルウォーターの中で売り上げ No.1*ブランド。1986 年の日本での輸入開始以来、着実に売り上げを伸ばし続け、若者層を中心に幅広く愛飲されています。水源はフランス中部・オーヴェルニュ地方に広がる火山自然公園のピュイ山脈。北端にある Volvic 村の地下深くから採水し、外気に全く触れることなく充填・キャッピングされた、まさに大自然がそのまま生きているナチュラルミネラルウォーターです。水源地の周辺環境は厳重に保護されており、約一万年前の火山活動で生まれた特別な地層が自然なフィルターとなってゆっくりとろ過されます。ヨーロッパでは珍しい「硬度 60 の軟水」で、そのすっきりとまろやかな味わいは、日本人の口にもよく合い、消費者の皆様から好評をいただいております。(www.volvic.co.jp)

日本においては、キリン MC ダノウォーターズ株式会社が Volvic の輸入、マーケティングを行い、キリンビバレッジ株式会社が販売を行っています。

*参考 (株)食品マーケティング研究所:リキッド飲料市場研究データブック 08 年度版 清涼飲料速報編

ユニセフについて

ユニセフは、世界 150 以上の国と地域で、生誕から青年期まで、子どもたちの命と健やかな成長を守るために活動する国連機関です。ユニセフは、開発途上国で男女を問わず全ての子どもたちに保健や栄養、水と衛生、教育などの基本的なサービスを普及し、暴力や搾取、HIV/エイズの脅威から保護するための様々な支援事業を展開しています。活動資金は、すべて個人や企業・団体からの寄付金と各国政府からの任意拠出金でまかなわれています。

40 年以上に渡り、ユニセフは安全な水と衛生施設を必要としている人々に提供するためのプログラムを実施しており、井戸やトイレの建設や水と衛生に関する啓蒙活動を展開しています。「安全な水と衛生の確保」はユニセフが中期事業計画(2006 年~2009 年)で掲げる 5 つの重点分野の 1 つで、様々な政府機関や NGO 等のパートナーと協力しながら活動しています。(http://www.unicef.org)

日本ユニセフ協会について

財団法人日本ユニセフ協会は、先進工業国 36 カ国にあるユニセフ国内委員会のひとつで、日本国内において民間として唯一ユニセフを代表する組織として、ユニセフ活動の広報、政策提言(アドボカシー)、募金活動を担っています。(http://www.unicef.or.jp)

ロハスデザイン大賞 2009 について

ロハスデザイン大賞は、一般社団法人ロハスクラブが主催するイベントです。サステイナブルな社会に貢献するロハスなヒト・モノ・コトを公募し、投票を経て大賞を決定します。第4回となる 2009 年は、「ローカーボンスタイル/低炭素社会へのチャレンジ」をテーマに開催されました。全 197 点のエントリー候補から、チーム・マイナス6%(環境省)と共催で行なうエキシビション「第4回ロハスデザイン大賞 2009 新宿御苑展」での投票と、インターネットでの投票が行われ、その総票数から、各部門上位3点、合計9点が大賞として認定されました。(http://www.lohasclub.jp/)

グッドデザイン賞について

グッドデザイン賞(G マーク)は、1957 年に旧通商産業省が創設した「グッドデザイン選定制度」を継承し、1998 年より財団法人日本産業デザイン振興会が主催する日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動で、世界でも有数の歴史と実施規模を誇るデザイン賞です。生活と産業のクオリティの向上に貢献するデザインを身の回りのさまざまな分野から見出し、これまでの半世紀以上で 34,000 件以上ものグッドデザイン賞として顕彰しています。(http://www.g-mark.org)